

## 2018年度 第1回学校関係者評価委員会議事録

山陰中央専門大学校

日時 2018年 8月 8日(水) 15時00分～ 16時20分  
場所 坪内学園1号館 6階大会議室  
委員定員 9名  
出席委員 7名  
永島一雄様、広江みづほ様、舟木誠一様、内田真理様、目次宗生様、  
青山裕一様、田中健様  
欠席委員 2名  
日野修一様、錦織澄様  
委員以外の出席者 坪内浩一、坪内美和、大島宏美、外浦直子

議題 (1) 2018年度の教育活動の取り組みについて  
(2) 教員自己評価報告  
(3) その他

### 議事の経過及び結果

永島委員長、坪内理事長および大島校長の挨拶の後、永島委員長が議長となり議事が進められた。  
議事の審議経過及び賛否の結果は以下の通りである。

### 議 事

#### (1) 2018年度の教育活動の取り組みについて

・外浦教頭代行より2018年度の教育活動の取り組みについて説明がなされた。

#### 質問および意見

- ・退学者防止を目標に挙げないのか。  
→今年度は退学者・退学希望者がいるが、昨年度はいなかった。そのため4月当初の目標に挙げていなかった。  
本人との面談のほか、保護者の意向も聞きながらその都度報告書を作成し学校内で情報を共有している。また、外部機関に協力依頼をしている。
- ・生徒のコミュニケーション能力を高めるために1分間スピーチを行うことは非常に良い。人前で話すことは社会人にとって大切なことである。ただし、ニュースの内容をただ話すだけでなく、自分の考えを話すことが大事である。
- ・生徒は会社訪問の結果を「企業研究」として発表するが、ホームページを見て分かる範囲のことにとどまらず、過去の先輩方の資料を参考にするなど内容を充実させる工夫が必要である。
- ・国家資格を取得するということへの緊張感と、楽しさを味わえる授業とのバランスが必要である。
- ・最近、分からないところを調べる癖がない生徒が多いが、学校では先生が教えてくれ、実習では資料が用意されているなど至れり尽くせりである。自分で悩んで自分で答えを見つけるようにすべきではないだろうか。

- ・改善案にもっと具体的なこと、手だてを揚げないのか。(数字で示すのは難しいかもしれないが)  
→目標と項目も併せて検討する。
- ・生徒について、実習は意欲的だが授業は十分意欲的とはいええないという話があったが、就職後のためになる授業をし、かつ楽しい学校生活になるよう、例えばこども総合学科の場合、もっと園を見に行くなどしてはどうか。
- ・こども総合学科の体育の授業では、生徒が跳び箱を飛んだり球技をしたりすることが多かったようだが、幼児のための介助の方法をもっと授業に取り入れられないのか。  
→昨年度までの授業担当は陸上競技専門の非常勤講師だったが、今年度からは専任の体育教員を配置し、園での研修を行うなど教職員資質の向上を図っている。また、生徒に対しては幼児体育指導者2級の講習を実施している。
- ・例えば自動車総合学科の場合、実際に自動車を修理する等、「本物でやる」という経験が必要ではないか。学校と現場が離れないようにするために、現場へ飛び込み学べる機会が得られる仕組みづくりがあるといいのでは。

#### (2) 教員自己評価報告

- ・外浦教頭代行より教員自己評価報告の説明がなされた。

#### (3) その他

#### 質問および意見

- ・特になし

滞りなく議事進行し、定刻通り終了した。

以上の議事を証するため本議事録を作成し、議長が記名押印する。

2018年8月8日

学校法人坪内学園 山陰中央専門大学校 学校関係者評価委員会

議 長

永島一雄

